

漁業者による磯焼け対策への技術サポート

水産土木工学部

研究の背景・目的

水産庁や水産総合研究センターが中心となり、何が磯焼けの原因なのかを明らかにする方法やどのようにして磯焼け対策に取り組めばよいかについて解説した「磯焼け対策ガイドライン」を平成19年2月にまとめました。現在、このガイドラインに基づく磯焼け対策の普及や実践を、水産土木建設技術センター、全国豊かな海づくり推進協会とともに実施しています。特に、漁業者による磯焼け対策に対して技術的なサポートに力を入れています。

研究成果

- サポートは、①組織体制、②状態管理、③技術の支援と開発を中心に行っています。
- 漁業者が自ら実施する磯焼け対策に対する技術的なサポートは、希望のあった10余りの地域で実施中です。
- 現在その成果が見られるようになってきました。写真は、その一例を示しています。

波及効果

- 持続的な磯焼け対策を実践するため、漁業者自身が取り組む磯焼け対策について、地域の特徴をうまく生かし、1つでも多くの成功事例を目指します。その成果は、磯焼け対策講習会や磯焼け対策全国協議会(水産庁)で公表します。

※ ご興味のある方は、遠慮なくお問い合わせください。

長崎県大瀬戸

磯焼け状態
(対策前)



対策実施中



藻場の回復
(対策後)



大分県名護屋



(生物環境グループ: 桑原久実)